

- 会場：市保健センター
- 問い合わせ：子ども課 (☎02268)

項目	期日・受付時間	対象年齢・内容
両親学級 ※要予約	1日(土) 午前9時20分～9時30分	沐浴・妊婦体験など
股関節検診	18日(火) 午後1時15分～2時	令和2年5月生まれ
4カ月児健康診査・ ブックスタート	25日(火) 午後1時15分～2時	令和2年4月生まれ
前期離乳食教室	3日(月) 午前10時～10時10分	令和2年2月生まれ
後期離乳食教室 ※要予約	7日(金) 午前10時～10時10分	令和元年11月生まれ
わくわく相談 (2歳児相談)	28日(金) 午前9時30分～9時40分	平成30年4月生まれ
1歳児健康診査	19日(水) 午後1時～	新型コロナウイルス 感染症予防のため、 参加人数を調整して います。対象の人 には個人通知します
1歳6カ月児 健康診査	27日(水) 午後1時～	
3歳児健康診査	6日(木) 午後1時～	
5歳児健康診査	4日(火)・5日(水) 午前8時50分～9時	平成27年8月生まれ ※集団遊びがあります

## こども医療電話相談 ☎#8000

休日や夜間に子どもの体調変化について対処方法などの相談ができます。

【受付時間】 月～土曜日/午後6時～翌朝午前8時  
日曜日・祝日・年末年始/午前8時～翌朝午前8時(24時間)

## 子育てSTYLE

### いろいろ気になる 子どもの生活

**Q** 子どもがいつも指しゃぶりをしています。やめさせた方がいいでしょうか。

**A** 指しゃぶりは母親のお腹の中にいるときから母乳を飲む練習として始まっています。生後12カ月ごろまでは生理的な反応として行われるのであまり心配いりません。2～3歳になると遊びが広がってくるので自然と減ってくるでしょう。入園や引っ越し、下の子どものお産などの大きな環境の変化があった場合は、3～4歳以降も一時的に指しゃぶりが多く出現することがあります。このような場合は無理にやめさせようとせず、親子で触れ合える遊びや絵本の読み聞かせなどを通して、指しゃぶりから注意をそらしてみましよう。親子のスキンシップは、子どものストレスによる不安や緊張を鎮め気持ちを安心させる方法として効果的です。年齢が大きくなってやめられなかったり、乳歯列に影響が出ていたりする場合は、かかりつけの歯科医や市の保健センターなどへ相談してみましよう。

# キラリ★わたしの学校

## 神流小学校

### ～養蚕の体験が郷土を誇る思いを育む～

藤岡市の小中学校では「高山社学」が行われています。本校では、理科の学習とのつながりの中で、3年生が蚕を飼育し、繭を取り、座繰りで糸を引く体験を行っています。現在、職員室前の廊下には、子どもたちが育てた繭を使ってできた絹の校旗が2枚、飾られています。

養蚕の体験が始まったときの子どもたちの反応はさまざまです。蚕の卵を見て、理科で学習したモンシロチョウの卵との色や形の違いに不思議さを感じる子どもがいます。脱皮を繰り返しながら日に日に大きくなっていく蚕の成長の早さに驚く子どももいます。始めは蚕に近づけなかったのに大切なものを手のひらで包むように蚕を手に乗せて観察したり、校庭の畑から桑の葉を取って来て葉を食む音を聞こ



↑繭から糸を取る座繰り体験。

うと耳を澄ましていたり、繭を作り始めた蚕を大発見の思いで見つめ続けたりするようになります。体験を通して養蚕への思いが子どもたちの中へと深く染みわたっていくのが分かります。繭が取れると、富岡製糸場世界遺産伝道師協会の協力を得て、座繰りで糸を取る経験をし、その後、碓氷製糸や染物・刺しゅう業者の協力を得て校旗となって学校へ届けられます。多くの人と関わりながら3年生で体験し学んだ内容は、地域の発展に尽くした高山長五郎や高山社の役割を学ぶ4年生の社会の学習、近代日本の歩みや高山長五郎の生き方を学ぶ高学年や中学校の学習へつながり、子どもたちの郷土を誇りに思い郷土を愛する気持ちを育てています。



↑子どもたちが育てた繭を使ってできた校旗。

問い合わせ 学校教育課(☎08212)  
神流小学校(☎02444)

## 集まれ! ふじおがキッズ



いまし かなた  
今西 奏陽くん  
(3歳5カ月・小林)

やんちゃすぎる可愛い王子♡これから  
らもねえねと仲良く元気に育ってね



さかもと あやね  
坂本 彩音ちゃん  
(3歳9カ月・岡之郷)

妹思いの優しいお姉ちゃん。いっ  
ぱい食べて元気にスクスク育ってね♡



ひらた みほね こほね  
平田 珠羽ちゃん・瑚羽ちゃん  
(4歳・2歳8カ月・藤岡)

わが家のプリンセス♡これからも姉妹  
仲良く明るく元気に育っていこうね!

- 対象 市内在住の4歳未満(受付時点)で過去に掲載のない子ども
- 応募方法 任意の用紙に保護者の氏名・住所・電話番号・子どもの名前・性別・生年月日・子どもへのメッセージ(32字以内)を明記し、子どもの写真1枚を郵送・メール・持参のいずれかの方法
- 応募先 秘書課広報広聴係(☎02208・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jp)

## 本との出会い

図書館司書がセレクトした  
新刊情報

### 迷子のままで



著者▷天童 荒太  
津波で失われたはずの生徒手帳、行方不明のまま永い時を経た少年の伝言。数千キロ先の故国を目指す男が残した別れのあいさつ。そこからは強いメッセージが発信されていた。

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)  
休館日 月曜日  
問い合わせ 図書館☎01669

### 「いつも無理してるな」と思った時に読む本



著者▷根本 裕幸  
頼られっぱなしのしつかり者。そんな女性自分らしく生きる心のトレーニングを紹介。心の「メイク」落としを伝授し、肩の力を抜き、本来の輝きを発揮できる考え方を伝える。

### 最期の対話をするために



著者▷玉置 妙曼  
「私、もう死ぬんでしょ?」大切な人からの最期の問いにどう答えますか?後悔のない別れを目指して今できることは。命の対話を続ける看護師・僧侶が「看取り」の心得を伝える。